

神石高原町農業委員会では、牧野町長へ次のおり要望書を提出しました。

### 平成二十四年度農業施策に関する要望事項

#### 一、農業振興対策について

(1)農産物の販売強化と特産品の研究開発  
①産直市場の施設の拡充強化を図ると共に、消費者に喜ばれる物作りと安定的集出荷により市場の活性化を図るため、3市場を横断的に生産指導及び集出荷調整を行う専任職員を配置すること。



牧野町長に建議を手渡す佐伯農業委員長

(2)農地保全と放棄地対策  
①農地保全と放棄地対策のため、各地域の担い手や土木業者を中心に作業受託の補助制度と、法人の設立が困難な地域を守るための補助拡充と支援対策を創設すること。  
②産業課助成事業で、営農組合・中山間地組

合等地域が一体となって取り組む場合の事業助成措置を法人と同一にすること。  
(3)農業後継者確保対策  
油木高等学校産業界ビジネス科卒業業者で、農業に従事を希望する者に対するバックアップ体制を講じ、後継者の確保を図ること。  
(4)有害鳥獣の被害防止対策の強化  
更なる駆除班の充実と、新たな自己防衛策の研究及び助成金の拡充を図ること。

#### 二、食農教育の推進と、学校給食への地元農産物の利用拡大について

食の「安心・安全」、「地産地消」の視点から、町内の学校給食に町内産品を積極的に利用するよう対策を講ずること。

#### 三、農業委員会への支援と体制整備について

農地法改正による農業委員会の業務拡大に伴い、制度の適正かつ円滑な運用が出来るよう、農業委員会の活動予算の確保と、実務に精通した職員の確保及び増員を行う等体制整備を図ること。

#### 四、国・県へ要望していただきたい事項

(1)集落法人等の育成・推進について  
地域の実態に即した集落法人の育成と、地域営農の強化及び集落リーダーの育成をめざすため、農業生産法人の設立要件について検討。

### TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の農業への影響について

テレビや新聞などで毎日のように報道されているTPP問題。そもそもTPPとは何か？日本がTPPに参加することで私達の生活、特に農業にはどんな影響を及ぼすのか？など農業に関わるTPPについてまとめてみます。みなさんも身近な問題として一緒に考えてみましょう。

#### TPPとは？

太平洋をとりまく9カ国（アメリカ・シンガポール・ニュージーランド・ブルネイ・チリ・オーストラリア・ペルー・マレーシア・ベトナム）が交渉を進めている貿易交渉です。TPPの原則として、「関税の撤廃」と「各国のさまざまなルールや仕組みの統一」があります。また、一度参加をしたら、脱退するのは非常に厳しくなっているようです。

現在、行われている交渉では、農業・工業・衣料品のほか銀行・保険・電気通信・医療など24分野にわたり広範囲に議論されています。

#### 農業に大きく関わる六つの事項

24分野の中から農業に関わる事項を挙げると：

- 一、物品市場アクセス（農産物の貿易関税の完全撤廃で完全自由化）
- 日本の関税率は、現在、米が700%、小麦は200%以上かけられています。
- 二、原産地規制



討を求めること。（小規模集落の支援・救済策が必要）

(2)環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への対応について

- ①食料自給率の向上と、安心・安全な食料の安定供給を確保する。
  - ②価格破壊による離農の加速に伴い荒廃地の拡大と、農村の空洞化による地域の崩壊の恐れ。
- 以上のこと等から、国の動向を見ながら、国へ対しTPP交渉参加への反対を強力に働きかけて頂きたい。



ると、700円程度になつてしまいます。

#### そうなった時に：

- ・自給率はどこまで下がるのでしょうか？
- ・私達、中山間地域の農業は、採算がとれるのでしょうか？
- ・いざ干ばつや冷夏などの天候不順で、凶作の年には食料の確保はどうなるのでしょうか？
- ・など、不安になります。

また、食の安全性についても、基準や規則の緩和や撤廃を迫られる可能性があります。

日本では、食の安全について厳しい基準が設けられていますが、各国基準を統一することで基準を引き下げる事にもなります。

#### そうなった時に：

- ・牛海綿状脳症（BSE）の輸入食品の品質確認は引き続き出来るのでしょうか？
- ・日本では禁止されている、ポストハーベス（収穫後使用）農薬が許可された場合、体への影響はどうでしょうか？
- ・遺伝子組み換え食品や新たな残留農薬や食品添加物の食品が輸入拡大し、安心して食べる事ができるのでしょうか？

これから、政府による内容の非公表での事前協議交渉が行われるようです。今回は、TPPの中でも農業に関わる部分をまとめましたが、交渉されている内容は、私達の生活に大きく関係する事ばかりです。もっと私達がTPP問題に関心をもち、知る事が大切ではないでしょうか。

